

一般質問通告書

次の件について、会議規則第 60 条の規定により、一般質問の通告をいたします。
(全体所要時間60分)

令和元年 11月 29日 午前・午後 時 分 受付
広陵町議会議員 山田美津代 印
広陵町議会議長 奥本 隆一 様

質問の要旨(できるだけ具体的に)	答弁者
<p>質問事項 1、高齢者の加齢による難聴の方が増えています。 補聴器の補助の検討を。</p> <p><内容></p> <p>近年高齢者が増え難聴の方には補聴器が必要ですがとても高くても買えない、また低廉な十分満足できない物で我慢している方もたくさんおられます。購入補助は総合支援法による障がい者手帳取得者への補助で、軽度の難聴者には適応されません。 介護を受けておられる方も補聴器は医療機器のため介護保険は適応外です。でも難聴は認知症にも影響が及ぶおそれがあるとされています。片耳5万円から何十万もする補聴器の補助を東京千代田区、葛飾区、などが助成を行っています。耳が聴こえるか聞こえないかは生活の質を大きく左右します。高齢者が増える中、できる限り老後の生活の質が維持できるように、広陵町も是非この助成を検討して高齢者を救っていただきたいと思います。</p> <p>磁気ループを香芝市では備えておられます。この備えも必要ではないですか？</p>	町長
<p>質問事項 2、公共交通、元気号改正後の状況は？</p> <p><内容></p> <p>今の元気号10月からの改変で便利になったと言われる方もおられますが反面今までより使いにくくなったとのお声が多数寄せられています。</p> <p>この問題は、現在の元気号の路線数と便数では根本的に解決することはできないと思います。この問題の解決のためには、これまで何度も主張、提案しているように元気号の改善とあわせデマンドタクシー導入の組合せによる複合的な対策が必要不可欠と考えます。</p> <p>一度元気号とデマンドを走らせてみる図を検討してみてください。</p> <p>このままでは高齢者は免許証を安心して返納できません。</p>	町長

<p>質問事項 3、県道河合大和高田線をシンボルロードとする計画はどこまでどう進んでいますか？</p> <p><内容></p> <p>竹取公園から安部までの危険なバス道路。開発が進み新住民が増えて今より交通量が増えると予想されます。子ども達も増えていきます。転居してきてこの県道を通り慣れないお子達が事故にあわないか心配です。危険な県道を安心して通れる県道にするには予算と計画がいりますが理事の構想のシンボル道路にする計画は県にどこまで話され県はどのような絵を描いているのですか？</p>	町長
<p>質問事項4、学校給食、保育所給食無償化への検討を。又おいしい中学校給食へ改善を！</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 6月議会で、学校給食は義務教育無償化の一環として、また子育て支援、子どもの貧困対策として既に全国83の自治体で小中学校給食の無償化が実施されていることを紹介し、広陵町でも検討するよう要望しましたが、その後、検討はされていますか？ 2、 幼保無償化で今まで支払わなくてよかった世帯が副食費を支払わなければならなくなったケースはどのくらいですか？ その世帯への支援を始めた自治体もあります。その支援は検討されましたか？ 3、 センターで作られている中学校給食の残食量が多い状態が続いています。残食料を減らすための抜本的な対策、工夫があるのでは？ 	教育長

質問の内容につきましては、詳細に記入してください。